

Q 伝統ある駅伝大会の存続を。

A 警察等と協議を行ないながら継続していきたい。

馬上議員

Q 町内駅伝大会は、今年で32回目、1/3世紀も続いた選手が、現在では日本を代表して世界に通用する選手へと成長している。
しかしながら、年々盛り上がりを見せるこの大会も、警察の指導が厳しく、今年もコース変更を余儀なくされた。このままでは伝統ある大会の存続が危ぶまれるが、何か対策を考えているか。

平本町長

A 2月に行った第32回駅伝大会は68チーム、500人以上の参加を受けて盛況のうちに実施することができた。このようなスポーツ大会は、参加者の安全確保と交通への影響を最小限にとどめることが重要であるため、海田警察などからの助言を頂きながら運営する必要がある。今年はコースの一部を変更して開催したが、今後も警察等関係者と十分協議を行ないながら、伝統ある駅伝大会を続けていきたいと考えている。



安全確保が最優先の町内駅伝大会

議会審議ピックアップ
〈平成17年3月定例会〉

■人事案件

○人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
..... ほか2件

■専決処分報告

○専決処分した熊野町立図書館（仮称）建設工事請負契約の変更の報告について
..... ほか5件

■条例関連

○熊野町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例案について
..... ほか7件

■補正予算関係

○平成16年度熊野町一般会計補正予算（第5号）について
..... ほか5件

■当初予算関係

○平成17年度熊野町一般会計予算について
..... ほか6件

■その他

○熊野町社会体育施設の指定管理者について
..... ほか3件

■発議

○「食料・農業・農村基本計画」見直しに対する意見書について

中村毅議員が25年表彰を受賞

1月28日、広島県町村議会議長会から議員在職25年の表彰を中村毅議員が受けられました。



助役の選任に同意

3月25日に行われた議会で、元県庁職員（秘書広報総室行政情報室長）橋本讓氏を、平成17年度からの助役として選任することで同意した。

